

講義科目名称： 応用栄養学Ⅲ

授業コード： 51203400 51203410

英文科目名称： Applied Nutrition III

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3	2	必修
担当教員			
須谷 和子			
月1、2			
添付ファイル			

科目の概要	ライフステージ別の身体状況の特性を理解した上で、栄養管理のあり方を学ぶ。 応用栄養学Ⅰ、Ⅱで修得した内容を理解しながら、さらに学びを深める。
授業の内容	<p>第1回 妊娠期・授乳期の栄養アセスメント 妊婦の食事摂取基準、授乳期の栄養とケア</p> <p>第2回 乳児期の栄養アセスメント 乳児の食事摂取基準と栄養ケア</p> <p>第3回 幼児期の栄養アセスメント 小児の食事摂取基準と栄養ケア</p> <p>第4回 学童期の栄養アセスメント 学童期の食生活、栄養ケア、学校給食</p> <p>第5回 思春期の栄養アセスメント 思春期の生理学的特徴、生活習慣の課題</p> <p>第6回 成人期の栄養アセスメント 成人期の生理学的特徴</p> <p>第7回 成人期の栄養 食生活と食事摂取基準</p> <p>第8回 更年期の栄養アセスメント 更年期の生理的特徴</p> <p>第9回 高齢期の特性① 高齢期の心身と生理的特徴</p> <p>第10回 高齢期の特性② 高齢期の栄養と口腔ケア</p> <p>第11回 高齢期の栄養アセスメント 臨床診査、身体計測</p> <p>第12回 運動・スポーツと栄養 生理学的特徴と代謝</p> <p>第13回 環境と栄養 生体リズムと栄養、特殊環境と栄養ケア</p> <p>第14回 ストレスと栄養 ストレスによる代謝の変動</p> <p>第15回 まとめ まとめ</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	成長、発達、加齢に伴う人体の構造や機能の変化と栄養状態との関係について理解し、各ライフステージ別の栄養アセスメントとリスク管理について説明できることを目指す。
授業の方法	教科書、パワーポイント、プリントを使用して講義する。
成績評価の方法	定期試験(80%) 授業への参加態度(20%)
教科書・テキスト	建帛社 「スタディ 応用栄養学」 東條仁美編著 2018年 2,800円＋税
参考書	授業時に指示する
授業時間外の学修について(事前・事後学習について)	事前学習：授業内容を確認し教科書を読んでおくこと 事後学習：管理栄養士国家試験の過去問題より応用栄養学の分野を復習理解しておくこと
履修上の留意事項	
オフィスアワー	水曜日 2時間目
実務経験	管理栄養士